

製造現場のためのオミクス活用

～ 生産性を向上させるデータ解析体制の構築 ～

日時：2026年4月23日（木）16:00～17:00

会場：オンライン（Zoomウェビナー）

参加費：無料

ご参加には事前登録が必要です。（登録締切：2026年4月23日正午）
ご登録は下記のURLまたは右記Rコードよりお願いいたします。

https://amelieff.jp/news/260423_111/



お申し込みはこちら

講演内容

製造現場において、蓄積されたデータを生産性向上に直結させるためには、多角的な解析手法に加え、「組織としてデータを活用する体制」をいかに構築するかが重要です。

本セミナーでは、専門家の知見を戦略的に活用しつつ、現場自らがノウハウを最大限に発揮してデータ解析をリードするための具体的なステップを提示いたします。

組織基盤作りには、専門知識を持たないメンバーも含めた全員が「データサイエンスの本質」を深く理解し、それによって共通言語化することが不可欠です。既存のプロセスデータ（pH、DO、温度等）や膨大なオミクスデータなど、チーム全体でデータ活用の可能性を把握するとともに、実務担当者には自走力と統計解析のスキルが求められます。そのうえで、課題解決に向けた洞察を導き出す体制を整えます。

環境整備には、ノウハウの蓄積がない初期の基盤整備が最大の課題となりやすく、多大な時間やコストを要します。同時に、成果を得るには導入後の試行錯誤や標準化をいかに進めるかが鍵となります。

本セミナーを通じて、製造現場におけるデータ活用と生産性向上のための「人材育成と解析環境の最適化」についてお伝えします。

こんな方におすすめ

- ・ オミクスデータの活用に関心を持つ、R&D担当者やマネジメント層の方
- ・ 解析の属人化に課題を感じ、組織的なノウハウを構築したい方
- ・ データ活用の着手にあたり、具体的な導入ロードマップを描きたい方
- ・ 生産性向上に向け、多角的な分析をチームで実現したい方

講師紹介

山口 昌雄 アメリエフ株式会社 代表取締役社長

略歴
2000 理化学研究所 遺伝子多型研究センター
2004 京都大学 博士後期課程入学
2004-6 パリ第6大学 留学
2007 京都大学 博士後期課程修了
2009 アメリエフ株式会社設立
東京科学大学 客員教授

